

製品安全データシート

1, 製品及び会社情報

製品名 トヨカゾールOGU-510
会社名 オリエンタル産業株式会社
住所 山梨県甲府市上条新居町180
担当部門 技術部 担当者 大門 邦彦
TEL 055-241-3221(代) FAX 055-241-1121
緊急連絡先 同上

2, 危険有害性の要約

GHS分類

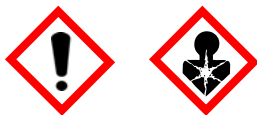
物理化学的危険性

火薬類	: 分類対象外
可燃性/引火性ガス	: 分類対象外
可燃性/引火性エアゾール	: 分類対象外
支燃性/酸化性ガス	: 分類対象外
高压ガス	: 分類対象外
引火性液体	: 区分外
可燃性固体	: 分類対象外
自己反応性化学品	: 分類対象外
自己発火性液体	: 分類対象外
自己発火性固体	: 分類対象外
自己発熱性化学品	: 分類対象外
水反応可燃性化学品	: 分類対象外
酸化性液体	: 分類対象外
酸化性固体	: 分類対象外
有機酸化物	: 分類対象外
金属腐食性物質	: 分類対象外
健康に対する有害性	
急性毒性-経口	: 区分外

急性毒性－経皮	: 区分外
急性毒性－吸入（気体）	: 分類対象外
急性毒性－吸入（蒸気）	: 分類対象外
急性毒性－吸入（粉塵／ミスト）	: 区分4
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	: 区分2
呼吸器感作性	: 区分外
皮膚感作性	: 区分外
生殖細胞変異原性	: 区分2
発がん性	: 区分外
生殖毒性	: 区分外
特定標的臓器毒性（単回暴露）	: 区分2
特定標的臓器毒性（反復暴露）	: 区分1
吸引性呼吸器有害性	: 区分外
環境に対する有害性	
水性環境有害性（急性）	: 区分外
水性環境有害性（慢性）	: 区分外

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

吸入すると有害
 強い眼刺激
 遺伝性疾患のおそれの疑い
 肺の障害のおそれ
 長期または反復暴露により肺、皮膚の障害

取扱注意事項

現在の所有用な情報無し

注意書き

曝露または曝露の懸念がある場合、医師の診断・手当てを受けること。

3, 組成成分情報

成分名	含有量	CAS NO.
黒鉛	5～15	7782-42-5
石油系炭化水素（鉱油）	75～85	—
添加剤、増稠材	10～20	—
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	0.5以下	128-37-0

P R T R法該当物質 含有量少なく対象外

労働安全衛生法通知対象物 鉱油（168号）

2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール（262号）

4, 応急処置

目に入った場合：清浄な水で十分に目を洗浄した後、直ちに眼科医の診断を受ける。

洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が良く行きわたるように洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は固着していないかぎり、取り除いて洗浄を続ける。

皮膚に付着した場合：汚染された衣服、靴などを速やかに脱ぎ、多量の水または微温湯と石鹸で付着した部分を洗い流す。加熱状態の製品が触れた場合には、洗浄後に火傷に対する措置を行わなければならない。また、水泡、痛みなどの症状が出た場合には必要に応じて医師の診断を受ける。

吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移動させ、身体を毛布などで被い、保温して安静を保つ。必要に応じて医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：無理に吐かせないで、直ちに医師の診断を受ける。無理に吐かせるとかえって肺への吸引等の危険が増す。口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗浄する。

最も重要な徴候及び症状に関する簡潔な情報

飲み込むと下痢、嘔吐する可能性がある。

目に入ると炎症を起こす可能性がある。

皮膚に触れると炎症を起こす可能性がある。

ミスト・蒸気を吸入すると気分が悪くなる可能性がある。

5, 火災時の措置

消火剤：粉末、泡、炭酸ガス、霧状の強化液等の各種消火剤による。

使ってはならない消火剤：冷却の目的で霧状水は用いても良いが、消火に棒状水を

用いてはならない。火災を拡大して危険な場合がある。

特定の消火方法：消火作業は可能な限り風上から行う。火災発生場所の周辺に関係者以外の立入を禁止する。火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。初期の火災の際には、粉末、炭酸ガス消火剤を用いる。大規模火災の際には泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。注水は火災を拡大して危険な場合がある。

消火を行う際の保護(保護具等)：保護衣を着用するほか、状況によっては、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。

6, 漏出時の措置

人体に対する注意事項：除去作業の際には必ず適切な保護具を着用する。大量の場合、漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立入を禁止する。

環境に対する注意事項：河川、下水道に排出され、環境への影響を起ささないようにする。

除去方法：漏出源を遮断し、漏れを止める。少量の場合には土砂、ウエス等で吸着させて空容器に回収し、その後を完全にウエス等で拭取る。大量の場合は漏洩した液を土砂などでその流れを止め、安全な場所に導いた後、出来るだけ空容器に回収し、河川、下水道等に排出されない様に注意する。海上の場合には、オイルフェンスを展開し拡散を防止し、吸着マット等で吸い取る。薬剤を用いる場合には国土交通省令で定める技術上の基準に適合したものでなければならない。

7, 取扱い及び保管上の注意

取扱い：耐油性手袋、長袖作業着、保護眼鏡、防毒マスク等の保護具を着用する。

火気注意。炎、火花、高温体との接触を避ける。静電気対策を行い、作業着、靴等も導電性のものを使用する。

使用する場合は局所排気装置等を使用する。製品から発生した蒸気は空気より重く、滞留しやすいのでみだりに蒸気を発生させないとともに換気を十分に行う。

保管：直射日光を避け、換気のよい場所に保管する。熱、スパーク、火炎及び静電気蓄積を避けるとともにみだりに蒸気を発生させない。ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。

8, 暴露防止対策

設備対策：ミスト、蒸気が発生する場合には発生源の密閉化、または排気装置を設ける。取扱い場所の近辺に、洗眼及び身体洗浄の為の設備を設ける。

管理濃度：規定なし

許容濃度：日本産業衛生学会(2004年度版)

時間加重平均TWA：3 mg/m³ (鉍油ミストとして)

ACGHI(2004年度版)

時間加重平均TWA：5 mg/m³ (鉍油ミストとして)

保護具：

呼吸用保護具：有機ガス用防毒マスク

保護眼鏡：普通眼鏡

保護手袋：耐油性(不浸透性)保護手袋

保護衣：耐油性長袖作業衣、安全靴

9, 物理的及び化学的性質

外観：黒色液体

沸点：250℃以上 蒸気圧：-

融点：- 密度(嵩密度)：0.8~1.0(g/cc)

揮発性：なし 溶解度：水：不溶

初溜点：- pH：-

引火点：250℃以上 発火点：データなし

爆発限界：データなし

可燃性：可燃性を有する 発火性(自然発火性、水との反応性)：無し

酸化性：無し 自己反応性・爆発性：無し

10, 安定性及び反応性

安定性：通常の条件下では安定である。

反応性：強酸化剤と接触すると反応する可能性がある。

避けるべき条件：強酸化剤との接触を避ける。

危険有害な分解生成物：燃焼等により一酸化炭素等が発生する可能性がある。

11, 有害性情報

急性毒性：経口 ラットLD50：5 g/kg以上(推定値)

局所効果(皮膚、眼)：皮膚や目、粘膜に対し、長期または繰り返し接触する場合には刺激性がある恐れがある。

感作性：有用な情報なし

慢性毒性・長期毒性：有用な情報なし

がん原性：現在のところ発がん性は確認できない

変異原性：有用な情報なし

催奇形性：有用な情報なし

生殖毒性：有用な情報なし

その他：飲むと下痢、嘔吐する恐れがある。皮膚に触れると炎症を起こす恐れがある。目に入ると炎症を起こす恐れがある。ミスト・蒸気を吸入すると気分が悪くなることもある。

1 2, 環境影響情報

移動性：物理化学的性質から見て、大気、水系、土壤環境に移動しうる。

残留性／分解性：有用な情報なし

生体蓄積性：有用な情報なし

生態毒性：有用な情報なし

1 3, 廃棄上の注意

一般産業廃棄物として知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者等に処理を委託して処分する。

1 4, 輸送上の注意

取扱い及び保管上の注意の項の記載による他、可燃性で有害な物質に関する一般的な注意による

1 5, 適用法令

労働安全衛生法：通知対象物質

水質汚濁防止法：油分排出規制 ノルマルヘキサン抽出分として検出される。

海洋汚染防止法：油分排出規制

下水道法：鉍油類排出規制

16, その他の情報

《お願い》

- この「製品安全データシート」は、当社の製品を適正にご利用頂くために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたものであり、通常の使用を対象としたものです。
- 本製品の使用方法については、この「製品安全データシート」をご参照の上、使用者の責任においてお決めください。
- ここに記載された内容は当社所有の情報によるものですが、情報の完全さを保証するものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づき改訂されることがあります。
- ここに記載された内容は情報提供であって、いかなる保証をするものではありません。